

## Bユニット

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	6		
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念作りを検討するようとの指導を受け、法人全体の理念に加えて新しい理念作りに取り組んだ。職員一人ひとりに「自分が目指すグループホームとは」をテーマにアンケートを募集して、スタッフ会議の場で発表してもらい、昨年秋より会議のたびに何度も検討を重ね、意見や思いを集約し、新しい理念を作りあげ、4月1日より	0		
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員が、いつでも確認できるように「新しい理念」をパソコンで作った大きな文字で書いた紙をリビングの、皆が一番見やすい場所（壁）に掲示しており、常に意識して新しい理念に則した介護が実践できるようにしている。業務開始の際には、管理者と職員は必ず理念を唱和し、日々の取り組みの中で確認している。	0		
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議を通じ、参加して頂いた家族や地域の方々や当ホームの「新しい理念」づくりに取り組んだ経緯を説明し、プリントを配布した。参加されなかった家族や地域の方々にも後日郵送配布し、より多くの家族や地域の方々にも理念を知って頂き、理解してもらえよう取り組んでいる。	1	今後は町内会長の方や地域の有志の方々にも相談し、回覧板差込等を検討して頂き、近隣の住民の皆様にも理解していただけるよう取り組んでいきたい。	
		2	2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
			4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者・職員や利用者は外で地域の方々や気軽に挨拶を交わす。近所の方も「花がきれいに咲いていますね」等と声をかけて下さり会話する事もある。真向かいに町内会長宅があり、会長と会う機会も多く地域の事や当ホームの近況を話したりする。近所にある保育園の園児が散歩中「おはようございます」と元気よく当利用者へ声をかけてく	0	
		5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の広報誌や回覧板で情報を有る程度は得ているので、利用者が参加できるような行事（地域清掃や公民館での催し等）に参加したり、近くにある保育園での行事にも時々参加している。玄関先には花壇やベンチを設置し立ち寄りやすい環境づくりを意図的に作っている。又、ボランティアが来訪できる環境も常に整えている。	1	今後は地域の方々や保育園等とも、もっと交流の輪を広げていきたい。まずは管理者や職員が直接公民館や「いこいの家」保育園等々に出向き、地域の皆様と相互訪問が実現できるようにしていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 と い の	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	当ホーム玄関の掲示板に介護保険に関する相談窓口やインフルエンザや感染に関する予防対策等のチラシ、同系列のデイサービスセンターの利用案内等を掲示したりと情報の提供に努めている。運営推進会議のなかで、地域の方々との情報交換をすること、当ホームの見学や情報提供等を通じて積極的に安心感を提供している。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外 部 評 価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義や目的について理解した上でスタッフ全員で自己評価に取り組んでいる。管理者は定期的に社内研修の一環として、「OITチェック表」を採用し独自の自己評価についても取り組んでいる。改善すべき項目については、職員に個別に明示し、改善への取り組みを行っている。	1	今後はできていない点を年間や月間の目標を掲げてホーム全体で改善に向けて取り組んでいきたい。
		3 外 部 評 価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況や活動状況を資料配布し、詳細に報告している。参加者の方々と(出席されていない家族・関係者の方々全員にも資料・会議録を後日、郵送配布)の話し合いの内容(意見・要望・質問)からその後のサービス向上に活かしている。	1	運営推進会議が平日開催ということで参加できない家族が多いことを鑑み、今後は年に1~2回程度で、土曜日か日曜日に開催して、できるだけ多くのご家族が参加できるようにして、より充実した運営推進会議にしていきたい。
		9 外 部 評 価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターの担当者にホーム内での行事(敬老会や忘年会、コンサートなど)には必ず招待状を送り参加を促している。生活保護者の担当者とは電話や来訪時に相談や情報交換をしている。市町村担当者の方と運営推進会議以外での行き来は出来ていないのが現状。ノロウイルス等の予防について講習参加や相談で連携を図って	0	
		10 外 部 評 価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	昨年10月の運営推進会議で、当時の地域支援センター担当者からパンフレットや資料を用いて権利擁護に関する話を頂いた。スタッフ会議で、権利擁護に関する外部研修を受講した職員から研修内容を発表してもらい、勉強会を行うなど学ぶ機会を多く取り入れて、必要な人にはそれらを活用できるよう支援していくようにしている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修で学んだことをスタッフ会議で発表し、全員が高齢者虐待防止関連法についてどんなことが身体拘束になるのか周知徹底するように努めている。身体拘束等が当ホームは勿論、近隣地域でも怒らないように注意を払い、虐待廃止や虐待予防・防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく 運営	理念を 実践す るた めの 体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書や重要事項説明書を提示しながら説明を行っている。退去への道筋、医療連携体制についても説明をする。不明な点などについては事例等を挙げたりして納得、ご理解していただけるようにしている。場合によっては同意書をお願いしている。入居後も疑問点や不安な事などがあれば、随時説明を行っている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の中で、管理者、職員は常に利用者の思いを言動から汲み取る努力をしている。運営推進会議開催時は毎回、利用者の方も自由に参加され、参加された家族や地域の方々が、利用者の気持ちや意見を聞く事ができるように配慮しており、それを運営に反映させている。	0	
		14 外部 評価 8	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時にゆっくり時間を掛け、健康面や日常生活の中で起きた些細な出来事でも逐次報告している。面会時だけでなく必要があれば家族の都合に合わせて電話で報告する事もある。面会の少ない家族には必要に応じて電話や手紙等で個々に近況報告をしている。金銭管理や職員の異動についても、その都度直接或いは電話で報告してい	0	
		15 外部 評価 9	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置し家族や地域の方々からの意見等を頂く環境を整えている。運営推進会議の際にも必ず家族等に確認をしているが日常の中で、できるだけ直接ご意見や要望を気軽に言っただけのような関係作りに努めている。又、家族等からの意見等があった時は真摯に受け止め、全職員にも報告し、その後の運営に反映させてい	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議の際に業務内容、勤務体制、その他意見や提案等なんでも気軽に話せる機会を設けている。運営者・管理者は日常の業務の中でも常に職員の思いや不満や要望等を汲み取る機会をつくり、できる事から迅速にそれを反映させる努力をしている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	通常は日勤帯は3~4名の勤務体制であるが個別対応のレクリエーション(外出等)、急な受診の付き添い、行事や特別な事がある場合は管理者が勤務に入ったり、必要な時間帯に職員を確保したりユニット間での応援体制を取ったりとその都度柔軟な勤務調整に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者や家族の信頼関係を築く為にも職員の離職や異動についてはできるだけ回避するよう努力をしている。やむを得ない事情で離職する時や諸事情で異動する時は利用者へのダメージを極力防ぐ配慮をしている。ユニット間の異動については、今後の各階活性化等が期待できると考えた場合は実施するようにしている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6項目・外部評価 4項目	2	
理念に基づく運営	19	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用に関しては、何も制限をしていない。その方の介護に対する思いや人柄を重視している。採用後は職員の長所や能力を十分に發揮できてやりがいを感じる事ができ、生きいきと働く事ができるように配慮している。又、資格取得や自己研鑽の機会を与え、自己実現ができるように配慮している。	0	
	20	20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	代表者や管理者は「新しい理念」を踏まえて、職員等に対して、入居者に対する思いやりや人権を尊重した声かけや介護を意識して取り組むように指導しているが、人権教育、啓蒙活動の取り組みまでには至っていない。	1	今後は、管理者・職員が外部研修や公民館での講話などに積極的に参加して人権教育、啓蒙活動について取り組んでいきたい。
	21	21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には年間を通して全職員ができるだけ受講できるような機会を確保している。受講した職員は必ず報告書を提出し、回覧してもらっている。スタッフ会議では資料の提出と研修の報告をしてもらい、全職員が学べるような環境を整え、質の向上に繋げている。参加できなかった職員全員に資料を配布している。	0	
	22	22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は同系列のグループホームとは常に、情報交換を行っているが、地域の同業者との交流やネットワークづくりについては未だ確立していないのが現状である。先日、管理者が始めて「ふれあい会」の集いに参加することができ、良い感触を得た。後日、近くのお寺で藤の花見を兼ねた「施設徘徊者のつどい」に当ホームの利用者も数名参加	1	今後は、福岡県高齢者グループホーム協議会に入会すると共に、地域の同業者と交流する機会をしっかりと持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質の向上に取り組みたい。
	23	23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は管理者や職員との会話の機会をできるだけ作り、個人面談を通じて仕事上や個人的な悩み等を聞き、その都度ストレスを軽減する為の工夫や環境づくりについて話し合いを持つなど状況打開を図っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている	就業規則を遵守し、職員の健康管理に努め、年1回の健康診断を実施している。運営者は、管理者や職員個々の努力を認め、勤務状況を把握し、職員は個別に昇給がある。研修も積極的な参加を認め、各自が向上心を持って働けるよう努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホームの見学は常にオープンにし、気軽に立ち寄れるようにしている。ホームに来ていただいた場合は、ご本人の心身の状態と気持ちをお聞きしている。ホームに来れない状況であれば、必要に応じて利用者その時の生活環境に合わせ、自宅、病院・施設等を訪問して、本人と面談をし、傾聴するようにしている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族にホーム見学をして頂いたり、面接の際は、困りごとや要望等を気兼ねなく話していただけるようにゆっくり話を聴いている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談があれば、面談時に本人と家族の思いをしっかり受け止め、場合によってはその状況に応じて他のサービス機関の紹介をするなど対応に努力をしている。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなり入居となれば、ご本人も家族も不安があるという場合には、一応、体験入居という形でも出来る事を説明している。入居当初はお互いに不安感もあることから安心してホームでの生活に徐々に慣れて頂ける様に職員と家族等が情報を共有し、相談しながら支援している。	0	
		2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0	
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で、職員はその方に対して、してあげているという気持ちではなく、その方から教えていただく事もあること、その方が必要であるという気持ち大事にして、日々お互いに助け合い支えあいながら共に生活しているというホームの理念の下に信頼関係を築いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話で、利用者の生活状況を逐次報告すると共に、ご家族のその時の思いを伺うことや、管理者・職員の立場からの日頃の思いなどをお伝えして、相互で分かり合え共に支えあうという事を大切に関係を築いている。家族にはできるだけ面会に来ていただきたい事や、外出等のお勧めもして家族の支援の大切さも理解していただくよう	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生会、敬老会、クリスマス会等々ホームの行事を通じて、一緒に食事をするなど、ふれあいの機会を多くもてるようにしている。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族等に相談しながら、家族の面会は勿論、従来の馴染みの方々の面会をしていただくように働きかけている。又、家族等との外出などもして頂くなど支援に努めている。本人が在宅生活の時利用していた行きつけの美容室に今でもお連れしている。又、他の利用者でそれまでのかかりつけの歯科医に現在は訪問していただき治療を継続してい	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者と共通の話題や趣味などを通じてより多くの方との交流ができるように随時職員が介入している。利用者の個性を鑑み、孤立しがちな方にもできるだけ職員が介入して、思いを代弁したりして、誤解の解消をする等、利用者同士の関わりの機会が増えるように努めている。利用者間でいたりや助け合う姿が多く見受けられるようになっ	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	自宅への退居後も、頻りに電話をかけてこられた方がいて、その都度管理者や職員がゆっくり話を聴いて対応した事例があった。最近は何もない。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35 外部 評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしを通じて一人ひとりの望みや思いを汲み取るために常にそれを意識した関わりを持ち、把握に努めている。困難な状況の場合は、家族等と情報交換してカンファレンスをして検討している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に必ず利用者の生活の場（自宅・病院・施設等）に伺い、ご本人・家族・関係者・関係機関からの情報を収集して把握に努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	食事や排泄、睡眠状況など一人ひとりの生活リズムの把握に努めている。特に排泄に関しては、ホーム独自で排泄チェック表を作成して、心身の状態把握等に役立てている。利用者個人のできることで、できないことを見極めて全職員で情報を共有している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価 18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各担当職員が「私の気持ちシート」を活用し本人から直接或いは日々の言動の中から捉えた情報とニーズ課題を抽出して、計画作成担当者と協議し、その後必要に応じてカンファレンスを実施して介護計画に反映している。家族とは面会時、或いは電話で随時ケアについて話し、総合的に介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価 19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は原則、個々の短期目標の期間ごとに見直しを行うようにしている。心身の状態の極端な変化や対応困難事例が発生した場合には計画作成者並びにホームとして、家族、各関係機関との話し合い・調整により現状の打開を図るべく新たな介護計画を作成している。場合によっては、家族と相談して「要介護区分変更」の申請を実施する	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ホーム独自の各種帳簿類を活用して記録している。状況によっては帳簿の見直しも随時行ない工夫改善して情報の共有に結びつけている。介護記録（個別）は、家族等が読んで頂くことから、分かり易く具体的に的確に記録すること、介護計画の実践の記録の位置づけにあるという意識の下行っている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	0		
	3 した多機能を活か	41 外部評価 20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の家族が遠方から来訪した際には、宿泊の対応（食事や入浴の提供も含む）も行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	1	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の訪問歯科クリニックにボランティアとして「口腔ケアについて」のセミナー開催や管轄の消防署員立会での防災訓練の実施、近隣の保育園での行事への参加、地域ボランティアの方々の来訪等々、様々な協力を得ている。利用者が希望する買物、散歩、外食、カラオケなどホーム近隣地域の中での生活を実感して頂くなどの支援をして	0	
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他の介護サービスの利用ができない状況の中、日常生活において身体の何らかの支障がある為、福祉用具を使用することで、より安全で快適な、できるだけ自立した生活の実現のために、必要に応じて家族と相談した上でサービス事業者（福祉用具業者）と連携し購入等の支援をしている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議には毎回参加していただいております、情報の交換等を行っている。	0	
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際には必ず「かかりつけ医」の有無の確認を行い、当ホームの協力提携クリニックの説明をし、納得が得られたら契約していただき、以後はそれぞれご希望のかかりつけ医の適切な医療を受けられるように支援している。現在、Bユニットの利用者は全員、当ホーム協力提携クリニックと契約しており月2回の往診を受けておられる。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ、主治医と相談して専門医等認知症に詳しい医師への受診や治療を受けられるように支援している。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力提携クリニックより往診体制をとっており、当ホームとしては非常勤看護師（正看護師）を設置しており、24時間体制で対応しているので利用者の心身の状態に異常がみられる際は、すぐ連絡して協力提携クリニックと連携し、健康管理や医療活用の支援を行っている。	0	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先の医師や関係者との打ち合わせに家族と共に参加すると共に日常生活情報の提供を行っている。本人の不安等が緩和されるように随時、面会もしている。退院時は病院に出向き、病院生活状況の把握と添書をもとに療養方針を得て職員と共にそうした場合に備えて連携している。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ターミナルの事例は無い。重度化した場合や将来のあり方について、本人、家族には意向を確認しているが、文書に残していない。かかりつけ医とは具体的な話し合いができていない。現在はホームのハード、ソフト両面共に環境が整っており、重度の介護が出来ないのが現状である。	1	現状は、状態が急変した場合、先ず入院となり病状が軽快して退院の場合、再入居は問題ないが、重度化して長期入院となった場合に医療機関の事情等で長期入院が難しくなる場合もあり本人・家族の不安はぬぐえない。今後は看取りに関する指針を整備し、本人・家族に十分説明し、話し合った上で同意文書を残すようにしていきたい。
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在は落ち着いた状態にあるが、今後の変化に備えて、管理者が見取りについての外部研修を受講して検討や準備を行っている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームでの生活状況等本人の情報を必要に応じて提供する準備は常にしている。そういったことになった場合は本人に関わる関係者間との連携を図り、住み替えによるダメージを防ぐよう努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	3	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	2	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は職員に対して常時指導しており、言葉かけや介助する場合には親しみをこめ敬語を使い本人のプライドを傷つけないように留意して対応している。居室やトイレ等の個室に入る場合も必ず、ノックする等の配慮をしている。プライバシーに関わる書類は施錠できる書棚に保管している。	0	
	53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が気軽に自分の思いや選択できるように雰囲気作りに配慮している。意思表示が困難な方へはこれまでの関わりや家族からの情報をもとにしながら、本人の表情から推察して対応している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の時間的な余裕と業務内容の見直しを職員間で何度も協議を重ね、利用者一人ひとりの好みやペースに合わせた暮らしが出来るようになってきている。花壇の水やり、いきつけの美容室へ付き添ったり買物・外食等の外出に付き添う等、常に利用者の要望に添えるように支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着替えは原則、個々人に選択を任せている。必要時に応じて見守りや支援を行っている。理美容は要望があれば付き添う場合もあるが他は訪問理美容のサービスを受ける為の支援をしている。	0	
		56 外部 評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は一人ひとりに希望を聞いたりして皆で決めている。利用者に味付けや調理方法を聞いて参考にしたり、調理の下準備や食事の準備や引き膳など片付けをするなどに食事を楽しむ事や、やりがいを実感できる為の支援をしている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在は喫煙者はいない。利用者全員の嗜好について把握しており、かかりつけ医との相談の上で、本人の希望時や行事の際は心身の状態がよい時に限り、ノンアルコールの飲酒も提供している。日常生活での楽しみを実感してもらえるように支援している。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ホーム独自の排泄チェック表をしようして、排泄パターンを把握し声かけや誘導のタイミングを掴んで、できるだけパット内失禁を避け、トイレでの排泄ができるよう職員で連携して支援している。	0	
		59 外部 評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	概ね週に2～3回で曜日は特に決めていない拒否が強い時などは希望やタイミングに合わせて気分よく入浴できるようにしている。衣類が汚染した場合は随時洗濯して常に清潔な服装で快適に過ごせるように支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は極力、活動を促して昼夜逆転傾向にならない様に配慮する。但し、利用者の身体状況に合わせて、個別に対応している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々歌ったり、新聞を読んだり、音楽を聴いたり興味あるTV放送をみたり、散歩をする際は付き添うなど、本人が好きなおこと、したいことができるように支援している。共有場所の簡単な掃除や花の水やりなどの役割をみつけ自発的に担当し楽しんでいる。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の個々の能力に合わせて、小額の金銭を所持しており、利用者が買物や外食等での支払い時は職員が支援している。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームが閑静な住宅街の中にあり、車の往来も少なく、近くの公園や保育園等に職員同伴で頻りに散歩をしたり、買物や外食・カラオケ等、戸外に出かける機会を多くもつようにしている。ホーム全体の行事として季節ごとに大型車での外出も実施している。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者が行きたい場所への外出については、出来るだけ個別に或いは気のあった利用者同士でのプランを立てて、職員の勤務時間を調整して実施している。場合によっては家族に依頼して外出が実現するように支援している	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話をするサポートや取次ぎをしたり、行事ごとや外出での出来事などを報告を兼ねて、葉書にその時の写真をプリントして利用者が直筆のメッセージや宛名書きをしてもらい、家族へ送るなどの支援をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	殆どの家族は面会も頻回にあり、居室で過ごして頂けるようにお茶などを提供したり、管理者や職員が状況によっては会話に参加して利用者の日頃の暮らしぶりを話したりして会話が弾むよう配慮している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束しない当ホームの方針ではあるが、一名が家族の強い要望で話し合いの結果、かかりつけ医とも協議し、一定時間の拘束を已む無く実施している。身体拘束をしないケアについて昨年、数名の職員が研修に参加して意識づけも十分できており、職員全員が十分理解してそれを実践している。	0		
		68 外部評価 29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は居室は勿論、エレベーター、玄関の鍵は掛けていない為、利用者の行動は絶えず見守っている。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室にいる方へは訪室の際はノックして入室し、プライバシーに配慮しながら、利用者の様子及び状態の把握をに努めている。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状況によって居室内のベッド、家具、福祉用具の配置や注意の必要な物品の保管場所については家族とも話し合っって対応している。居間、トイレ、浴室等々の共有スペースについては洗剤や薬品類等、注意の必要な物品は保管場所を検討し危険を回避する対応を行っている。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	介護事故等については、担当者がこの一年間に発生した事故・ひやりはっつについて事故報告書を分析して資料を作成し、スタッフ会議で発表した。事故等の防止について職員全員で再発防止策について話し合いをして事故防止に取り組んでいる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	普通救命講習を受講して、全職員に伝達講習を実施したり、スタッフ会議で看護師による利用者の急変時の応急手当や初期対応の勉強会を行い、その時に迅速的確な対応ができるように訓練を実施している。勉強会に参加出来なかった職員や新入職員もいるので現在は徹底されていない。	1	訓練の回数を増やすなどして、全職員が応急手当や初期対応が的確に出来るように訓練の徹底を図りたい。
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内に火災報知機・消火器・煙探知機を設置している。災害時の避難経路などのマニュアルを作り、避難訓練については災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できるように日中と夜間別々に想定して、必ず毎月利用者と一緒に行っている。年に1～2回消防署員の指導の下実施している。近隣の住民の協力を得ての訓練の実施には至って	1	昨年夏、隣の建物から火災が発生し、直後は地域でも火災防止について意識が高まった事が、今後は当ホームの避難訓練等について、地域住民の協力が得られるよう、町内会長を中心に話し合いの機会をつくり理解と啓蒙をしていきたい。
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族からの強い要望で話し合いの末、安全の為に一時的な抑制による不自由な暮らしの利用者がいる。その他の利用者の家族とは、リスクと同時に自由な暮らしが背あわせであることを十分説明し、その為の対応の仕方等を話し合っており納得している。状況に変化が生じた場合は随時話し合いをして対応している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員全員、利用者一人ひとりの状態把握は出来ており、常に状態観察して異変時の発見に努めている。気付いた際には即、情報収集を行い、管理者、看護師、かかりつけ医に連絡して対応に努めている。場合によっては家族にもすぐ連絡をしている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬セットは看護師が行い、毎回の服薬介助は全職員が行っている。看護師が随時、職員に対して薬について説明を行っており理解出来ている。服薬の際は、誤薬等の事故防止の為、利用者氏名・日付け・朝・昼・夜・眠剤について声を出し読み上げて確認を徹底して行っている。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	独自の排泄チェック表を使用して、全職員が排便状態の把握をしている。服薬による排便コントロールのみではスムーズな排便が出来ない利用者に対しては勿論、全利用者に飲食物を工夫したり、利用者の能力に合わせた無理なく出来る体操や運動の機会を作ったりして、自然な排便が可能になるよう心がけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時と毎食後に必ず職員が側で見守るか、介助して徹底して実施している。殆どの利用者が訪問歯科クリニックの往診による口腔ケアが行われており、口腔ケアの支援ができています。	0		
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や栄養バランスについては、食材サービス事業者の献立表を基にカロリーにも留意して提供している。利用者それぞれの心身の状態や能力、好み、習慣にも配慮している。体調不良の利用者はお粥や食べやすい形状にしたりして必要摂取量が確保できるよう工夫して対応している。食事量や水分量の把握については常に職員間で確認している。	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策についての研修会に参加して全職員に予防対策の重要性を指導している。マニュアルを作成し、又、職員の目に触れる場所に予防対策の資料等を掲示して意識付けと実行の徹底を図っている。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為、台所・調理用具等をすべて毎日漂白を実施し、衛生管理の徹底を図っている。新鮮で安全な食材を購入し、購入後の食材管理にも十分注意している。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の中は、花を生けたりして来訪者や利用者がほっとする空間作りをしている。玄関周りや建物周囲は出来るだけ花を植えて来訪者が楽しい気分になるように又、ベンチも設置したり生活感と安心感を感じられるよう工夫している。	0		
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全居室南向きで採光は良好。共有の場所は適切な広さがあり、温度調整は利用者に確認しながら職員が行ない、快適な室温を保持している。閑静な住宅街にあり静か環境にある。廊下、居間に利用者の作品や行事・外出時等の写真等を掲示し生活感や季節感を感じる工夫をしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	屋外では玄関側にベンチを設置しており、室内では、居間にソファを設置し、利用者同士、職員、家族等がゆっくりくつろげるスペースを確保している。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やかつての思い出の写真等掲示する等して、安心感と出来るだけその方らしい居室空間を作れるように支援している。室温等は利用者を確認して調整している。掃除は毎日、ほぼ職員が行っている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	夜勤者は利用者が起床した後、日勤者は掃除や食後等に空気入れ替えを行って換気に配慮している。室温調整は外気温との兼ね合いと利用者の状態を見極め、利用者にも必ず確認して快適な環境づくりを心がけている。	1		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りは入居者の身体機能に合わせ、事故防止と使い勝手を考慮し利用者が安全に且つ自立した移動移・乗等が可能となるよう適切に設置している。今後状況が変化すれば、随時検証して対応していく。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者個々の理解力を職員間で日頃の生活の中で常に確認・把握し、情報の共有を心がけ、話し合いをしながら実施している。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地内の庭に置いているプランターで花や野菜等の水やりをしたり、花を觀賞したり、ベンチに腰掛けて暫く利用者同士や職員と談笑してゆったり過ごしたりしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。